



*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

生徒のスマホ使用禁止へ、学習の妨げ理由 ～米ロサンゼルスで40万人対象～

生徒のみなさん、先日、新聞やテレビ、ネット等で、次のような報道がありましたので紹介します。

米カリフォルニア州のロサンゼルス統一学区(LAUSD)は18日、携帯電話の使用を終日禁止する方針を承認した。携帯電話が子供らの学習を妨げ、メンタルヘルスを損なうほか、人間関係の阻害要因になるとしている。

同学区は、1月に施行されるこのプログラムの実施方法を検討するとしており、それには生徒らに携帯電話を鍵付きのポーチや特別なロッカーに保管させるなどの案が含まれるという。ロサンゼルス統一学区は生徒数40万人で、学区の規模としては全米で2番目に大きい。

18日に承認された決議案には、若者による携帯電話の使用が有害な影響を及ぼすことを浮き彫りにした一連の調査結果が引用されている。コモン・センス・メディアの調査では、10代の若者の半数が携帯電話「依存症」だと感じていることが示されているほか、別の調査結果では11～17歳の子供の97%が授業日に携帯電話を使用していることが明らかにされている。

ロサンゼルスの現在の方針では、生徒らは授業中の携帯電話の使用を禁止されているが、昼食や栄養補給のための休憩時間中は使用が許可されている。ニューヨーク州ではホークル知事が2025年の議会会期中に学校での携帯電話の使用を禁止する法案を提出する意向を示している。

カリフォルニア州のニューサム知事は、州議会と協力して州全域で学校時間中のスマートフォンの使用を制限する方針を表明した。同知事は声明で、「子供や10代の若者が学校で過ごす時間は、スクリーンではなく勉強に集中すべきだ」と指摘した。
【Bloomberg ネットニュース 6月19日】

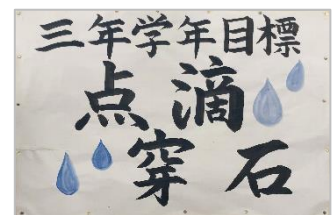


現在、石川県内で、携帯電話やスマートフォンの持ち込みやその使用を認めている中学校はありません。本校では、機を見てその危険性について、生徒のみなさんに警鐘を鳴らして注意喚起を行ってきました。間違いなくインターネットの出現は、現代社会に大きな変革をもたらしましたが、技術の発達に社会のルールが追いついていないのが現状です。何が正解かわからない状態で、みんなが使っているからと言ってその危険性に目をつぶり、知らぬ間に「依存症」になってしまっただけは元も子もありません。下のURLは、久里浜医療センターの「スマートフォン依存スケール(短縮版)」です。自分の現状を一度、診断してみてください。

<https://kurihama.hosp.go.jp/hospital/screening/sas-sv.html>

3年学年目標「点滴穿石(てんてきせんせき)」 ～わずかな力でも積み重なれば大きな仕事を成しとげられる～

先日、Chromebookの持ち帰りで、Y o M iトレの課題を出しました。生徒のみなさんは、しっかり取り組むことができましたか。Google Formsによる解答は、誰がいつ解答したかがわかります。残念ながら、忘れていたのか課題に取り組まなかった人や月曜日に学校に来てから解答した人が少なからずいました。



【学習コンテスト 3年英語の様子】

右の写真は3年生の学年目標で、ちょうど3年3組前の廊下に掲示されています。この四字熟語には「小さな水滴も長く落ち続ければ石に穴をあけられる」ということから転じ、「わずかな力でも積み重なれば大きな仕事を成しとげられる」という意味です。

Y o M iトレや学習コンテストなど、わずかなことの1つ1つの積み重ねが生徒のみなさんの学力を確かなものにしていきます。逆に言えば、1つ1つを積み重ねなければ、学力は身につけません。「学問に王道なし」!